神興東小校区に住むみなさん一人ひとりが郷づくりの会員です　2026/10/1　Vol.62

郷づくり神興東

編集者：樋口英典

夏休み交流センター開放　♪子どもの笑顔　最高♪

ここ数年、7、8月の期間は連日の猛暑で子ども達が外で遊ぶこともままならない状況が続いています。そこで今年は、クーリングシェルターを兼ねた子どもたちの居場所を提供したい！との思いから、学校・保護者・コーディネーターをはじめとした地域の人たちと力を合わせて夏休み期間に交流センターを開放することにしました。

さまざまな課題が浮上しましたが、多くの方々の協力で乗り切ることができました。

子どもたちは本当に元気で想像力豊か。自由に遊び方、遊び道具を発明し、楽しんでいました。とくに好評だったのは「竹ぽっくり」。喜んで持ち帰ってもらいました。

来年も子どもたちの笑顔でいっぱいにしましょう。

取材：井上　順一、名古屋　孝樹



学習に取り組み一生懸命



ビー玉あそび



竹ぽっくりつくり



カプラで陣地確保



ボードゲームに興じる



ミニコンサート

～夏の地域行事あれこれ～

「八並」「久末」の盆踊り

お盆の初日八月十三日、八並公民館前の広場には焼きそばなどの食べ物や飲み物の出店が軒を連ねお祭り気分で明るいうちから賑わっていました。

帰省中の子どもや孫、親類縁者が集い若者人口がいつもの数倍に膨れ上がり、子どもの走り回る姿と歓声がありました。

「海馬」さんの和太鼓演奏で始まり、ラムネ早飲み大会、コンサート（ディファレントカラーの歌や演奏）盆踊り、抽選会、子ども花火大会に続きお菓子が配られ、子どもたちも大喜びの中で閉会になりましたが、二十一時過ぎまで会場は大賑わいでした。

◆　◆

久末の盆踊りは、十四日、十九時から公民館前の広場で始まりましたが、時間前には里帰りの親子で、花火遊びや久しぶりに逢う友人知人との近況報告会で話が弾んでいました。

中央に組まれた太鼓櫓には明治二十四年制作の大幕が張られ歴史を感じる会場の設営が目を引きました。

時間になると抽選会で始まり、番号が読み上げられると仲間から歓声で送り出され、盛り上がったところで盆踊りの始まり。

「日本列島どっこいな」の曲と太鼓の音に合わせて踊り、マジックショーや大抽選会などで夜は更けて、お盆の故郷（ふるさと）を楽しんでいる盆踊り大会でした。

八並も久末も、里帰りや帰省で子どもや若者が溢れいつもに無い風景が見られる懐かしいお盆風景でした。

取材：樋口英典





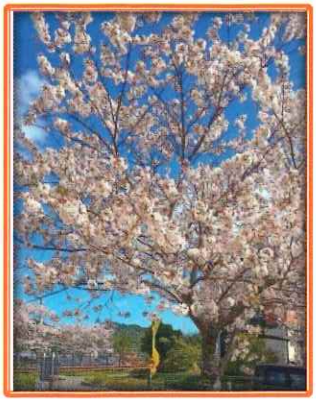
久末の盆踊り





八並の盆踊り

～自治会長を訪ねて～「桜川区」



このたび自治会長に就任して、改めて桜川区の成り立ちや魅力を見つめ直したいと思い、この場をお借りしてご紹介いたします

桜川区は平成 14 年（2002 年）に造成され、間もなく四半世紀を迎えようとしています。

私が自宅購入の際に住宅を見学してまず感じたのは「緑が多い街だな」ということでした。

その背景には、「緑地協定書」の存在があり、当初は、敷地の 20%に植栽を設けるという基準が定められており、

この基準に沿ってまちづくりが進められてきました。

現在、その基準はなくなりましたが、その名残もあってか、今でも各住宅には多くの植栽が見られます。

特にツツジは、一部の住宅や区内の沿道に数多く残されており、春の訪れを感じさせてくれます。

また、地区名のとおり、2 つの公園には多くの桜が植えられています。

満開に咲き誇る桜を楽しんだあと、花びらが舞い散る様子には、名残惜しさを感じるほどの美しさがあります。

桜川区は、緑と花に恵まれた、潤いある街です。

これからも、この美しい住環境を大切にしながら、みなさまとともにより良い地域作りに努めてまいりたいと思います。

桜川区自治会長：今村幸二郎

～安全・安心部会紹介～

～新しく生まれ変わり発足しました～



地域の皆さまこんにちわ☺今年度から新たに発足した「安全・安心部会」の部会長を務めさせていただきます、若木台２丁目の田中年明と申します。

これまで、防犯部会・防災部会の２部会がそれぞれ活動していましたが、これからは見守り隊を加えて、３つのチームが力を合わせて、神興東地域が安全・安心で笑顔の絶えないまちづくりを目指し、頑張っていこうと思います。

宗像警察署・福津消防署と協働し、ハザードマップ・のぼり旗配置図の作成を行っています。かならずや、皆様のお役に立つと信じています。

イベント、パトロールで部会員をお見かけの際、気軽に声をかけてください。

どうぞよろしくお願いいたします。

安全・安心部会長　田中年明



防災マップ作製中


登校見守り活動

～ぶらりまち歩き～

「雀のお宿」

思わず、ちょっと覗いてみようかな、と思わせるネーミングの「雀のお宿」。

毎月第３月曜日「わかば公民館」で行われている若木台２区の集いです。

「みなさんに来ていただき、ピーチクパーチク賑やかにおしゃべりが弾めばいいな」との想いで、この名前を付けたそうです。



中に入ると公民館の広い部屋は、笑顔の高齢の方でいっぱい。賑やかな雰囲気です。

始めに出席者のお名前が読み上げられ、次に主題歌（メダカの学校の替えうた）を全員で合唱しました。

そして誤嚥対策の早口言葉、ラジオ体操、肩甲骨体操、ビンゴと続き、最後はテーブルのみんなでおしゃべり。



息つくヒマもなく、手足、口、頭を動かして２時間がアッという間に過ぎました。

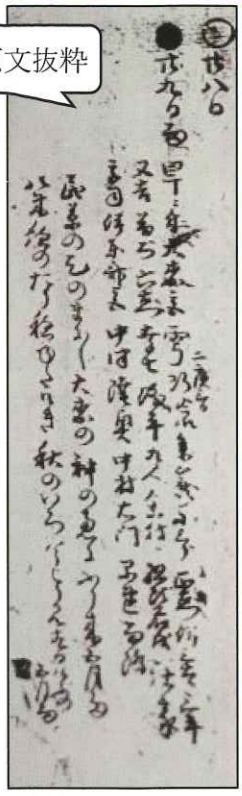
因みに５月は手品を見る会、６月はオペラ歌手から手ほどきを受けるなど、毎回催し物をセット開催、会員の方々の興味関心がその笑顔の窺われる集いが開催されていました。

地域コミュニティから出発した「雀のお宿」、今では高齢化が進み後継者探しが課題になっているようです。今後益々の発展を念じております。

取材：樋口英典、藤田禮子

～歴史探訪～　第10回

大庄屋城戸小三郎『晴雨日記』より～江戸時代の生活～



今回は、日記に残されている短歌を紹介します。
友と別れを惜しむ歌や周忌の歌など二十数首、記録されています。

天保十四年五月廿（にじゅう）九日　　（注）／＼は繰り返しの文字で（まに）となります。

旱（ひでり）ニ付、大森宮雨乞（あまごい）二夜三日断食参籠、（中略）早速雨降

民草の　乞のまに（ま／＼に）　大森の　神の恵に　ふり来　五月雨（さみだれ）
八束穂の　たり穂ゆたけき　秋のいろ　今より見する　けふの五月雨

大森宮での雨乞いを行った時の歌です。日記では五月に入り雨は五日しか降らず、田植え時期に雨が欲しかったのでしょう。二泊三日の断食をすると、神の恵みにより降雨、豊かに稔った秋の稲穂が、もう目の前に見えますと詠っています。八束穂は手に掴んだいっぱいの稲穂、たり穂は豊かな穂こと。

天保十五年十月四日

百武へ一宿、長州千崎村目（サツクワ）文貞老へ面会

又いつか　逢見る事も　しらぬ火の　筑紫に来ます　時そ待るれ
（意）　先々、会える日はわからないが（文貞老）が筑紫に来る時を待っています

博多にいる友人百武万里の家に宿泊した時に、長州（現山口県）千崎の目（サツク）文貞に面会し、その別離を惜しむ歌です。百武万里は、医学をドイツ医師のシーボルトに学び、博多で人体解剖を行った蘭学の先覚者。目文貞は長州千崎の医師で、種痘研究を行った長州藩医の青木周弼や弟研蔵と姻戚関係にあたります。同月八日には、万里、文貞が訪ねてきた記録も残っています。
なお、文貞の甥には、明治期に活躍した外務大臣青木周蔵がいます。　　久末　的場文彦

～郷づくりからのお知らせ～

虹のかけ橋じんとう祭（神興東小学校総合文化祭）

場所日時：神興東小学校、１０月３１日（土）８時４５分～１６：００

内容：午前・・子どもたちのステージ発表、午後・・体験教室、作品展示、出店・キッチンカーも来るよ❣
詳細は別途ご案内があります

市一斉防災訓練

日時：１１月７日（土）８：３０～

＊郷づくり神興東では各自治会で独自の防災訓練を実施します。

郷づくりソフトボール大会

日時：11月15日（日）９：００～　応援に来てね♪

場所：なまずの郷運動公園（出場予定：若２、３、４、５、６、あけぼの×3、桜川、久末、計10）

編集後記

▼TOKYO FM ラジオ24:00　ジェット機のエンジン音とともに、管制官の声が流れ、続いてミスタロンリーの軽快な調べに載せて、城達也の「遠い地平線が消えて…」のナレイションではじまる「ジェットストリーム」懐かしいな～　井上順一

▼子どもが生まれてからの日々は目まぐるしく、あっという間に1歳の誕生日も目前です。プレゼント何にしようかなぁ　名古屋孝樹

▼JR東福間駅構内に福岡銀行ATMが移設されました。防犯上良いのですが目立つのが気になります。　信田由美子

▼我が家庭菜園、夏の酷暑と干ばつで大不作。これからも高温続きの予報で、白菜や大根などの秋冬野菜への影響がありそうで困ったな！　樋口英典

▼チンチンチン、秋の虫カネタタキが奏でる澄んだ音色は、しみじみ心に響く。　藤田禮子

▼読書の秋、まずは「郷づくり神興東」はいかがですか？　藤本みわこ

発行：神興東地域郷づくり推進協議会　811-3206 福津市久末236-1、☎0940-43-1421、Sato-jintou1421@ar.wakwak.com